

# ANNUAL REPORT 2022

アニュアル・レポート 2022



イメージキャラクター「とわぶる」

国分寺市障害者基幹相談支援センター

## 令和4年度(2022年度) 事業報告

### ◆今年度新たに取組んだこと

①4月より、基幹事業の広報と市内相談支援専門員の業務サポートを目的として、独自ウェブサイトの正式運用を開始しました。

**成果** 年間の訪問者数 15,425人、ページ閲覧数が 116,006件となり、前年の法人ウェブサイトと比べ、独自のページ閲覧数が前年比の約 25.7 倍になりました。

②市内 6 つの地域包括支援センター全部を初訪問しました。高齢福祉分野が抱える地域課題等の情報を把握し、研修や会議のテーマとして取り上げました。

**成果** 高齢-障害福祉分野、権利擁護センター、生活福祉課、民間企業、警察等の多機関協働により、高齢の親と障害のある子を支える地域の支援ネットワークを築き上げ、数年にわたる虐待ケースを解決に導きました。

### ◆次年度に向けて

①相談支援専門員の業務軽減を図るため、ウェブサイトの更なる充実に取り組みます。

②8050問題とともに、障害者の高齢化問題をテーマに取り上げ、地域の支援者全体で学ぶ機会を設けて、支援のネットワークの目を細かくしてまいります。

③広報の一貫として、本誌アニュアルレポートを発刊し、配付します。



Anniversary Report  
(令和4(2022)年8月発刊)



### 行政とのつながり

- ・障害福祉課
- ・生活福祉課
- ・高齢福祉課
- ・健康推進課
- ・地域共生推進課
- ・経済課
- ・子ども家庭支援センター
- ・子どもの発達センター
- ・保健所

市 - 基幹 定例協議(毎月)

#### 緊急把握

緊急度が高まりやすい家庭の把握  
29世帯(32名)

#### 緊急入所保護事業

本事業は、市内在住の障害者等を介護している同居の家族が、病気等により家庭で介護ができなくなった場合、事前に他のサービスの利用準備ができていない時に、障害のある方を緊急かつ一時的に施設で保護するものです。

### 国分寺市障害者地域自立支援協議会

【全体会】(3回)

- 【相談支援部会】(3回)
  - ・相談支援事業所連絡会(毎月)
  - ・障害児通所支援事業所連絡会(2回)

【就労支援部会】(3回)

- 【精神保健福祉部会】(4回)
  - ・地域移行等支援連絡会(20回)

事務局会議(15回)  
ニューズレター発行(年2回)



自立支援協議会ニューズレター  
(東京都国分寺市公式ホームページ)

64回



### 相談支援事業所連絡会(毎月)

相談支援専門員同士の交流、スキルアップ研修、教育との連携、メンタルヘルス等、相談員の負担軽減をはかる。

【相談支援事業所訪問 全12カ所】

相談支援従事者初任者研修、現任者研修は、個別ケースを通しての気づきや地域課題と一緒に検討した。

支給決定基準、消費生活相談、特別支援教育コーディネーターとの交流会

12カ所



### 権利擁護・虐待防止

支援者向け虐待防止研修  
「事例から学ぶ虐待防止  
～虐待防止の取組は職員も救う～」

12月



(報告書)

※今年度より、福祉関係者は悉皆研修

会場とオンラインのハイブリッドで実施

オンライン 125名、会場 28名参加

毎年12月に開催し、支援者間に定着してきた

- ・権利擁護関係機関連絡会(3回)
- ・権利擁護センター・自立サポート 連携ケース(4名)

275名

延べ参加者



### 支援者の人材育成

【ネットワーク研修Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ】  
支援者向け虐待防止研修

【相談支援専門員】

- ・新任研修(1回)
- ・ブラッシュアップ研修(2回)
- ・「神経生理学の基礎」(1回)
- ・事例勉強会(3回)

【コンサルテーション】6事業所参加

- ・9ケース(10回)×2H=20時間

計87回



### 基幹職員の人材育成

- ・研修(27回)
- ・コンサルテーション(6回)
- ・講演会(40回)
- ・連絡会(7回)
- ・説明会(2回)
- ・情報交換会(4回)
- ・実践研究報告会(1回)

「基幹相談支援センター設置10周年事業の振り返りと今後の展開について」

YouTube 動画▶



### 精神保健福祉分野のネットワークづくり

～精神科病院からの地域移行～

6月

【ネットワーク研修Ⅰ】

「地域支援機関と精神科病院との連携～連携事例を共有し、具体的な取組につなげよう～」



(報告書)

- ・退院支援のためのイメージ動画「グループホームの種類について」を製作し、病院等に配付して視聴いただいた。
- ・近隣市の精神科病院を訪問 3病院(3回)
- ・当事者ヒアリング 2名(1回)



### 高齢分野のネットワークづくり

～障害・高齢分野との連携～

10月

【ネットワーク研修Ⅱ】

「障害福祉から介護保険へ～調整期間の有効性を考える～」



(報告書)

【国分寺地域包括支援センター訪問 全6ヶ所】

- ・研修打ち合わせ、包括もとまち訪問(2回)
- ・包括職員と相談支援専門員が連携したケースの共有のほか、グループワークを実施した。



### 児童分野のネットワークづくり

～児童から成人への丁寧な引継ぎ～

2月

【ネットワーク研修Ⅲ】

「福祉職の性支援と多職種連携～今なぜ、学ぶ必要があるのか～」



(報告書)

- ・医療的ケア児支援関係者会議(3回)
- ・つくしんぼ・市・基幹三者打ち合わせ(6回)
- ・児童から成人へ相談支援事業所移行ケース検討
- ・企業との連携

# 基幹相談支援センターとともに

国分寺市障害者基幹相談支援センターと関係を紡いでくださった方より、メッセージをお寄せいただきました。これからもよろしく願いいたします。

## 笹渕 真子

東京都教育庁都立学校教育部  
学校健康推進課  
課長代理（2022年度の肩書き）



基幹の設置10周年おめでとうござ  
います。障害者雇用率制度【事業主  
に対し、従業員の一定割合（＝法定  
雇用率）以上の身体・知的障害者  
の雇用を義務付け（※精神障害者はカウント可）】が1976年  
の法改正により法的義務となり、以後、何度か改正が行われ、  
2013年に2.0%、2018年4月に2.2%、2021年3月からは  
2.3%へと段階的に引き上げられてきました。それに伴い、障  
がい者の雇用者数は連続で過去最高を更新し、障がい者の多く  
は、社会にでて働く機会が多くなりました。

私の勤務する特別支援学校でも就労にむけてのさまざまな支  
援が行われています。しかし、学校は、小学校1年から高校3  
年生までの12年間、人生のほんの一部にしかなりません。障  
害の診断を受けてから地域の支えがなくては、子育てもうまく  
いきません。また、高校卒業後就職してもそれからのほうが長  
い職業人生が続きます。障がい者が社会にでるためには、自助、  
共助、公助の適切な組み合わせによる「自立のための社会的支  
援システムの構築」がとても重要になってきます。万葉の里は  
地域の中で、さまざまな障害がある方が安心して生活できるよ  
う支援して下さる心強い存在です。これからも、真に必要な  
支援を提供して下さる基幹を応援していきます。

## 松村 洋明

医療法人社団根岸病院 常務理事  
医療相談室室長



### 時代とともに、間断なく

基幹相談支援センターをはじめ、  
国分寺市の関係機関の皆様には日々  
の地域連携にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京都における1年以上の精神科長期入院患者は2011年に  
11,970人、2019年には10,240人と減少してきていますが、  
依然として長期入院は精神科医療にとって大きな課題となっ  
ています。これからも難治性に経過している患者さまの治療と地  
域で支えていく仕組みを融合していくことが重要です。

他方、医療や専門的支援を提供することも大切ですが、それ  
らを前提としない介入や見守り、地域生活のなかでの緩やかな  
つながりを構築することはそれ以上に求められる時代となっ  
ていきます。これからも支援者の皆様とともに研鑽を積みながら、  
進化し続ける基幹相談支援センターの更なる発展に向けて全力  
を尽くして参りますので、よろしくお願い申し上げます。



## 木村 利信

株式会社典雅 プロジェクト推進室  
able グループ グループマネジャー  
able factory 施設長



基幹の研修\*では、子どもたちが  
自分の心と身体について知り、生命・  
人権・人格の尊重を根底にした生き  
方の教育が性教育であるという捉え  
のもと支援者が集い共に学びました。研修には、放課後等デイ  
サービスの従事者が多く参加されていましたが、本社にも放課後  
等デイサービスに通所する障害のある男児・女児の保護者からの  
相談が多く、つじつまが合いました。

私は、現在、就労継続支援B型の施設長ですが、10年程前ま  
では、施設側も障害のある子の性についての理解は乏しく、テ  
ンガの商品に対して拒絶反応を示す職員もいました。今回の研修で  
は、テンガの商品を手にとってもらい、直接、たくさんの質問を  
いただき、支援する職員の関心が高いことを実感しました。

TENGAヘルスケアでは、2019年にセイシル製作チーム\*\*を  
立ち上げ、10代の性に関するトラブルの予防・解決、さらに性  
に対するポジティブな姿勢を育めるように、中学校、高校への出張  
授業も展開しています。文部科学省では、2019年にGIGAスク  
ール構想を開始し、各家庭でもICT化が整備され、正確な情報を入  
手しやすくなり、相談先も容易に見つけられるようになり、相談  
のハードルがとても下がったと感じています。

本社の新たな企業理念に、「[生きる]をよろこぶ世界へ」に、「ワ  
クワク」する想いを込めて、人々が健やかに楽しく生きる「生」  
を包括的に取り扱う事業展開へと一新しています。

今後とも基幹とタッグを組んで、研修等に全面協力する所存です。

## 千田 孝一

国分寺市 福祉部 障害福祉課  
事業推進係長



### 基幹と二人三脚での取組

基幹と障害福祉課はこれまで多くの  
取組を進めてきました。私が着任した  
5年前を振り返ると、随分と状況が改  
善されたかと自負しております。これは  
一重に、基幹の風通しの良さや障害福祉施策を推進することへの  
熱意によるものだと感じています。

まずは、相談支援事業所連絡会が軌道に乗り、活発な意見交換  
がなされ、相談支援専門員の事務負担を軽減すべく、国分寺様式  
の利用計画や計画相談に関する確認事項を作成するとともに、相  
談支援専門員の支援力向上に向けて、研修や事例勉強会、個別コ  
ンサルテーション等を実施してきました。

次に、基幹と障害福祉課で共同運営する障害者地域自立支援協議  
会は、全体会及び3つの専門部会で当初スタートしましたが、現在  
では各専門部会で作業部会が設置され、年間の合計開催回数が50回  
を超えるほど活発に活動し、さまざまな取組を行っています。

そして、地域生活支援拠点の拡充については、障害者センター及び  
KOCO・ジャムの2箇所でも当初スタートしましたが、現在では相談支援  
事業所、短期入所事業所及びグループホーム（1箇所）が加わり、地域  
生活支援拠点に必要とされる5つの機能の充実が図られています。

以上の取組が地域のネットワークづくりに繋がっており、関係者で  
顔が見える関係が築かれ、更なる取組を実施できる好循環が生まれ  
ていると考えています。関係者の皆さまにおかれましては、いつも  
好意的に取組にご協力くださり、この場を借りて感謝申し上げます。

これからも、障害のある方が自分らしく生き生きと暮らせるよ  
うに、皆さまのご意見に耳を傾け、基幹相談支援センターと二人  
三脚でさまざまな取組を進めてまいりますので、引き続きよろし  
くお願いします。

\*令和4年度国分寺市相談支援スキルアップ研修 ネットワーク研修Ⅲ(児童)「福祉職の性支援と多職種連携～今なぜ、学ぶ必要があるのか?～」開催日時：令和5年2月21日(cocobunjiプラザリオンホール)  
\*\*「セイシル 知ろう、話そう、性のモヤモヤ 10代のための性教育バイブル」(著：セイシル製作チーム) 2022年発行 | 株式会社 KADOKAWA

# 国分寺市障害者基幹相談支援センター 2022年度活動



2022  
4 APR  
5 MAY  
6 JUN  
7 JUL  
8 AUG  
9 SEP  
10 OCT  
11 NOV  
12 DEC  
2023  
1 JAN  
2 FEB  
3 MAR

- ・基幹独自のWebサイト“towaple.com”を開設した。(本誌 p.5 参照)
- ・とわぶるのクリアファイルを作成し、関係機関に配付した。
- ・市報4月1日号に基幹10周年と「とわぶる」の命名について報告を掲載した。  
(4月-6月)・市内12カ所の相談支援事業所を訪問した。

- 〈5月-6月〉・市内6カ所の地域包括支援センターを訪問し、地域課題等を共有した。
- ・事例勉強会「児童から成人へ相談支援事業所移行ケース①」を実施した。参加者15名

- ・【スキルアップ研修Ⅰ(地域移行)】「地域支援機関と精神科病院との連携～連携事例を共有し、具体的な取組につなげよう～」(根岸病院、高月病院、井之頭病院)を実施した。参加者39名
- ・相談支援専門員のための新任研修(支給決定基準、消費生活相談等)を実施した。参加者13名
- ・(都内)基幹相談支援センター連絡会①

- 〈7月-9月〉・市内7事業所の相談支援従事者研修、現任者研修の実習の対応をした。
- ・事例勉強会「児童から成人へ相談支援事業所移行ケース②」を実施した。参加者14名



- ・事例勉強会「児童から成人へ相談支援事業所移行ケース③」を実施した。参加者11名
- ・基幹設置10周年「アニバーサリーレポート」を発行し、関係各位に配付した。

- ・相談支援専門員のためのブラッシュアップ研修(講師・角田みずぶ氏、「神経生理学の基礎」)参加者11名
- ・自立支援協議会の『ニュースレターNo.11』特集「ひろがる 相談支援専門員のつながり」より、誌面をリニューアルして、支援者に配付した。

- ・【スキルアップ研修Ⅱ(障害福祉・高齢福祉)】講評:石渡和実氏「障害福祉から介護保険へ～調整期間の有効活用を考える～」を実施した。参加者42名
- ・法人内実践研究報告会にむけて、外部講師を招き勉強会を実施した。
- ・(都内)基幹相談支援センター連絡会②



- 〈11月-2月〉
- ・市内8事業所の相談支援従事者研修、初任者研修の実習の対応をした。

- ・【支援者向け虐待防止研修】「事例から学ぶ虐待防止～虐待防止の取組は職員も救う～」を実施した。(153名、オンライン参加者含む)、2月研修の広報の一環で、「とわぶるクッキー」を製作して配付した。



- ・相談支援専門員のためのブラッシュアップ研修「都立武蔵台学園特別支援教育コーディネーターとの交流」を実施した。参加者14名



- ・【ネットワーク研修Ⅲ(障害児)】「福祉職の性支援と多職種連携～今なぜ、学ぶ必要があるのか～」を実施した。参加者46名
- ・(都内)基幹相談支援センター連絡会③

- ・自立支援協議会の『ニュースレターNo.12』特集「児童発達支援事業の紹介」を発行して、支援者に配付した。
- ・法人内実践研究報告会で、「基幹相談支援センター設置10周年事業の振り返りと今後の展開について」を発表した。



## 2022年度活動実績

相談業務件数	3,916件			内容別件数(重複あり)	4,023件		
支援方法:(合計3,916件)							
訪問	来所相談	同行	電話	電子メール	会議	関係機関	その他
44	52	4	275	24	86	3,425	6

# 国分寺市障害者基幹相談支援センターのWeb サイトが「towaple」になりました。

## 専門相談

障害や難病のある方の暮らしの心配ごとの相談を受けます。  
ご家族のほか、関係機関からの相談も受け付けています。



### 研修案内

基幹が主催する研修の開催日程、開催後の実施レポート等をご案内します。



### 自立支援協議会

障害者地域自立支援協議会の報告等をお届けします。



### ダウンロード

『Anniversary Report』など、各種刊行物をダウンロードできます。



### スペシャルコンテンツ

相談支援専門員をサポートするコンテンツをご活用いただけます。



国分寺市障害者基幹相談支援センターのWeb サイトは「とわぷる」で検索、または右のQRコードを読み取ることでご覧いただけます。



とわぷる

検索

<https://kokubunji-kikan-towaple.com/>

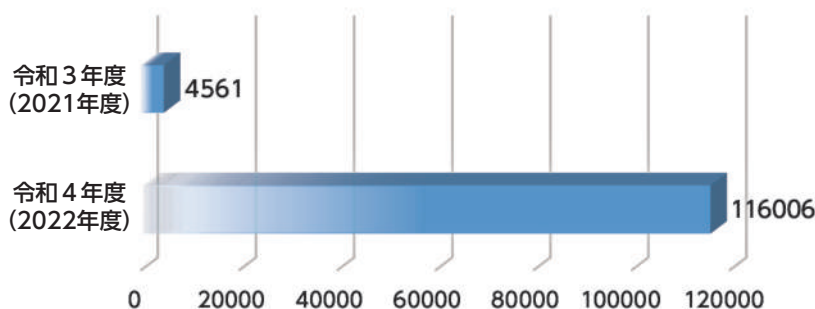


## 〈Webサイトの実績表〉

### 「towaple」にリニューアル後の成果

令和3年度、法人Webサイトのコンテンツの一部として基幹のWebページが存在しました。当時の閲覧件数は、全体の閲覧件数39,673件のおよそ11パーセントに当たる4,561件でした。令和4年度、基幹独自のWebサイトを開設、コンテンツの充実、広告・宣伝活動の結果、前年度の約25倍となる116,006件の閲覧件数を記録しました。

### ページ閲覧数の変化



### 「国分寺市障害者基幹相談支援センター Annual Report 2022」

令和5年（2023年）7月31日発行

社会福祉法人 万葉の里 国分寺市障害者基幹相談支援センター

〒185-0002 東京都国分寺市東戸倉2-7-26 KOCO・ジャム 2階

電話：042-320-1300 FAX：042-313-8823 <https://kokubunji-kikan-towaple.com/>



\*この冊子は、環境に優しい原材料を使用しています。

印刷：社会福祉法人 東京コロニー